「学生調査の結果をいかに活用するか」

【目的】

　本企画は、学生・教員・職員という3者がそれぞれの立場や現状認識に基づき議論を行い、教育改善の方向性や具体的方策をともに考え出すことを目指すものである。

　今年度は、本学において既に実施されている一方、大きな課題も抱えているテーマの1つとして学生調査を取り上げることとした。学生調査を巡っては、次年度から文部科学省による全大学を対象としたものが計画されていることからも明らかなとおり、その利活用の重要性が高まっている。学生調査に当たっては、一定の回答率確保といういわば入口の部分だけでなく、その結果を回答者である学生と大学を運営する教職員とでいかに共有するか、そして実際の学習・教育の改善につなげていくかという出口の部分にも非常に大きな課題がある。この点については、本学にも当てはまる。

　そこで、本企画においては先行事例を参考にしつつ、特に学生が意義を感じられる学生調査の実施と結果公表、改善への活用の仕方について、学生と教職員が各々の視点から考え、実際の改善につなげる機会としたい。

【対象】　本学の学生及び教職員

【日時】　2019年12月9日（月）16:10 ～ 19:10

【場所】　郡元キャンパス　学習交流プラザ2階　学習交流ホール

【プログラム】　　　　　　　　　　　　　司会：高等教育研究開発センター　伊藤奈賀子（FD委員）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 内 容 | 担 当 |
| 16：10-16：20  （10分） | 開会挨拶 | 理事（教育担当）  武隈 晃（FD委員長） |
| 16：20-16：30  （10分） | 趣旨説明 | 高等教育研究開発センター  中里 陽子（FD委員） |
| 16：30-17：10  （40分） | 講演：学生調査の学習・教育改善への活用（仮） | 大阪府立大学  高等教育開発センター  畑野 快 氏 |
| 17：10-17：20  （10分） | 休憩 |  |
| 17：20-17：50  （30分） | グループ活動①：自己紹介＆課題の明確化 | ファシリテーター  学生・教職員WG |
| 17：50-18：40  （50分） | グループ活動②：学生調査の結果をどう共有し、学習・教育改善につなげるか | ファシリテーター  学生・教職員WG |
| 18：40-19：00  （20分） | 発表 |  |
| 19：00-19：10  （10分） | 閉会挨拶、アンケート記入 | 共通教育センター  今井 裕（FD委員） |